

事業No.	110001	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	各種募金の促進			
事業概要	地域の福祉活動に配分される「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい募金」を通じ福祉意識の向上を図る。			
R7の取組内容	町内会や各種団体、学校等を通じ、募金活動を行った。 ・令和7年度 目標額 8,315,000円／実績額 7,932,020円			
評価内容	評価指標	募金の目標達成率		
	R6	評価	評価理由	若干目標額に届かなかったが、募金箱設置協力店の募集を行ったほか、イベント募金を実施し、募金拡大に努めた。
	100.1%	A		
	R7	今後の課題	引き続き、イベント募金や募金箱の設置協力店を拡大するほか、共同募金の啓発に努めていく。	
	95.4%			

事業No.	110002	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	広報紙（社福だより）の発行			
事業概要	地域福祉についての情報提供や福祉意識の啓発のため、社福だよりを年4回発行する。			
R6の取組内容	2月、5月、8月、11月の年4回発行した。			
評価内容	評価指標	広報紙（社福だより）の発行の有無		
	R6	評価	評価理由	計画どおり年4回発行した。
	有	A		
	R7	今後の課題	限られた紙面のなかで、さらに効果的な記事の掲載を検討する必要がある。	
	有			

事業No.	110003	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	ボランティア相談事業（連絡調整員の配置）			
事業概要	社会生活の多様化により、社会福祉においてもボランティアニーズの変化や需要と供給など、ボランティア相談に対応できるよう、ボランティア活動連絡調整員（以下「コーディネーター」という。）を配置する。			
R7の取組内容	毎月第2、第4水曜日（午前10時から12時）を相談日として、コーディネーターを配置した。 ・コーディネーター 2人			
評価内容	評価指標	相談員の配置人数		
	R6	評価	評価理由	計画どおりコーディネーターを配置した。
	2人	A		
	R7	今後の課題	ボランティアに関する相談に対応できるよう、引き続きコーディネーターを配置する。	
	2人			

地域福祉活動計画取組状況確認票（R7：社会福祉協議会）

事業No.	110004 (130004)	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	＜地域福祉の意識づくり＞ 社会福祉大会の開催【重複】			
事業概要	社会福祉関係者が一堂に会し一層の努力を誓うとともに、社会福祉の推進に功績のあった方々を表彰し感謝の意を表すために社会福祉大会を開催する。（精神保健大会と同時開催）			
R7の 取組内容	令和8年2月5日（木）、第62回銚子市社会福祉大会を開催、第二部は「銚子市における地域の現状～野尻からの試み～」と題した講演会を実施した。 ・市長表彰状／9人、市長感謝状／29人、会長表彰状／6人、会長感謝状／6人、支会長感謝状／1人7団体			
評価内容	評価指標	社会福祉大会開催の有無		
	R6	評価	評価理由	社会福祉の各分野で功績のあった方々を表彰することにより、福祉意識の向上に寄与できたものとする。
	有	A		
	R7		引き続き、社会福祉大会を実施することが適当と思われる。	
	有			

事業No.	120001 (130005)	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	＜交流の促進＞ 福祉まつりの開催【重複】			
事業概要	様々な福祉関連団体が連携し、利用者や団体等の交流を深めるため、福祉まつりを実施する。			
R7の 取組内容	令和7年12月7日（日）、これまでの福祉標語の募集のほか、参加体験型のイベントとして実施した。 ・参加団体 36団体／来場者数 500人			
評価内容	評価指標	来場者数		
	R6	評価	評価理由	令和5年度に実施方法を見直したが、参加者からは概ね好評との意見が多かった。特に参加体験型の実施方法が評価されたものとする。
	500人	A		
	R7		会場レイアウトや時間配分のほか、新たな団体の参加について検討が必要。また、点字プログラムの作成など、できる限り多くの方の満足度を上げる取組が必要。	
	500人			

事業No.	130001	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	社会福祉協議会の体制強化			
事業概要	社会福祉協議会全体の活性化を図るため、年1回以上地区会長会議を開催し、各地区社会福祉協議会の事業計画等の情報交換、助成金交付を行う。			
R7の 取組内容	令和7年7月8日 地区社会福祉協議会会長会議開催 主な議題：地区社会福祉協議会に対する支援について（助成金交付） 令和7年度事業計画について			
評価内容	評価指標	地区社協会長会議の開催回数		
	R6	評価	評価理由	地区社協の活性化のため会長会議を開催し情報交換を行った。限られた財源のなかでなかなか新たな活動につながらない現状だが、一部地区社協において、廃止した事業を再開した。
	1回	A		
	R7		助成金の財源である共同募金も年々減少し、高齢化も進む中で充実した活動を行うことが難しくなっている。 また、活動区域の単位である小学校（区）の統廃合が進む中で、その在り方についても検討していく必要がある。	
	1回			

地域福祉活動計画取組状況確認票（R7：社会福祉協議会）

事業No.	130002	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	ファミリーサポートセンター事業の充実			
事業概要	育児の援助を行いたい者（提供会員）及び育児の援助を受けたい者（利用会員）を会員として、市民相互による育児の相互援助活動を支援（マッチング）するため、ファミリーサポートセンターを設置するもの。			
R7の取組内容	提供会員及び利用会員の募集を行うとともに、相互援助活動のマッチングを行った。また、両者の交流と事業の啓発活動の一環として2回の交流会を行った。 ・R8.3.31現在 提供会員／33人、利用会員／94人、両方会員／2人 ・交流会2回（R7.10.25（土）ハロウィーンフラワーアレンジメント／R7.11.22（土）クリスマスオリジナルオーナメント）			
評価内容	評価指標	援助活動回数		
	R6	評価	評価理由	援助活動回数も増え、同一利用者の利用件数も多くなっており、一定のニーズに対応できていると考える。
	166回	A		
	R7		今後の課題	引き続き会員の募集を行うとともに、様々な利用会員のニーズにこたえるべく、多様な提供会員の確保が必要と考える。
309回				

事業No.	130003	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	市民バザール大会の開催			
事業概要	市民への福祉意識の醸成のため、町内会や地区社協など福祉関係団体の協力を得て市民バザール大会を開催する。			
R7の取組内容	大会運営側の負担やバザール品の調達状況などから、関係団体と協議した結果、令和5年度以降中止となった。			
評価内容	評価指標	（令和5年度当初に中止となったため、指標の設定なし）		
	R6	評価	評価理由	（令和5年度以降中止となったため）
	—	D		
	R7		今後の課題	
—				

事業No.	(110004) 130004	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	<身近な福祉活動づくり> 社会福祉大会の開催【重複】			
事業概要	社会福祉関係者が一堂に会し一層の努力を誓うとともに、社会福祉の推進に功績のあった方々を表彰し感謝の意を表すために社会福祉大会を開催する。（精神保健大会と同時開催）			
R7の取組内容	令和8年2月5日（木）、第62回銚子市社会福祉大会を開催、第二部は「銚子市における地域の現状～野尻からの試み～」と題した講演会を実施した。 ・市長表彰状／9人、市長感謝状／29人、会長表彰状／6人、会長感謝状／6人、支会長感謝状／1人7団体			
評価内容	評価指標	社会福祉大会開催の有無		
	R6	評価	評価理由	社会福祉の各分野で功績のあった方々を表彰するとともに、第二部として実施した講演会により、福祉意識や活動につながる事が期待される。
	有	A		
	R7		今後の課題	引き続き、社会福祉大会を実施することが適当と思われる。
有				

地域福祉活動計画取組状況確認票（R7：社会福祉協議会）

事業No.	(120001) 130005	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	＜身近な福祉活動づくり＞ 福祉まつりの開催【重複】			
事業概要	様々な福祉関連団体が連携し、利用者や団体等の交流を深めるため、福祉まつりを実施する。			
R7の 取組内容	令和7年12月7日（日）、これまでの福祉標語の募集のほか、参加体験型のイベントとして実施した。 ・参加団体 36団体／来場者数 500人			
評価内容	評価指標	来場者数		
	R6	評価	評価理由	令和5年度に、実施方法を見直したが、参加者からは概ね好評との意見が多かった。特に参加体験型の実施方法が評価されたものとする。
	500人	A		
	R7			
	500人		今後の課題	引き続き実施していくが、実施方法の工夫などにより、参加団体や来場者の更なる増加を見込んでいく。

事業No.	130006	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	結婚５０周年記念事業の開催			
事業概要	多年にわたり社会に貢献され結婚５０周年を迎えたご夫妻に対し、感謝と敬愛の意を表し、今後の生活を豊かにするため、市と共催で記念式典を開催するもの。			
R7の 取組内容	令和７年９月６日（土）、申込みのあったご夫妻に対し記念祝賀会を開催。来賓の祝辞をいただき、赤飯と記念品、お祝いの言葉（市長、社協会長連名）を配布。式典後にはアトラクションを披露した。 ・参加申込者　１９組（当日参加　１８組）			
評価内容	評価指標	結婚５０周年記念事業の開催の有無		
	R6	評価	評価理由	祝賀会へご夫妻で出席することで、改めてお互いに感謝の気持ちが生じたとの声もあり、開催の意義はあると考える。
	有	A		
	R7			
	有		今後の課題	引き続き祝賀会を実施することが適当と思われる。

事業No.	130007 (320002)	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	<身近な福祉活動づくり> ボランティア連絡協議会の機能強化【重複】			
事業概要	加盟団体自ら会員の増強を図るほか、ボランティア連絡協議会への支援やボランティア相談などを通じたボランティア活動の啓発を行う。			
R7の 取組内容	ボランティア相談やボランティア連絡協議会が主催する福祉まつりを通じたボランティア団体の活動の周知・啓発を実施した。 ・ボランティア相談 8件 ・福祉まつりの共催と助成金による支援（32万円） ・社福だよりへのボランティア団体の活動内容について掲載			
評価内容	評価指標	ボランティア連絡協議会加盟人数		
	R6	評価	評価理由	福祉まつりの参加団体同士の交流や来場者に対する各ボランティア団体の活動の周知・啓発の場となっており、一定の効果はあると考える。
	709人	A		
	R7		今後の課題	引き続き福祉まつりの開催やボランティア相談等を通じ、各団体のPRを行っていく。
	661人			

地域福祉活動計画取組状況確認票（R7：社会福祉協議会）

事業No.	130008	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	ボランティアの育成や活動の推進			
事業概要	ボランティア連絡協議会や加盟団体への支援等を通じボランティアの育成や活動を促進する。			
R7の取組内容	ボランティア活動の周知・啓発やボランティア団体が行う事業等への支援 ・福祉テレフォン、ボランティア相談員の配置 ・ボランティア連絡協議会研修経費等ボランティア促進事業経費 194,839円			
評価内容	評価指標	年間活動延べ人数		
	R6	評価	評価理由	ボランティア活動への支援により活動団体の維持に寄与できたと考える。
	5,399人	A		
	R7	今後の課題	引き続きボランティア促進事業を行うとともに、さらなるボランティア活動の周知・啓発を行う必要がある。	
	7,039人			

事業No.	220001	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	ボランティアコーディネート機能の充実			
事業概要	ボランティア活動連絡調整員（コーディネーター）による効果的なコーディネートを行うとともに、住民へのボランティア活動への参加を促進する。			
R7の取組内容	毎月第2、第4水曜日（午前10時から12時）を相談日として、コーディネーターを配置し、ボランティア相談を実施した。			
評価内容	評価指標	相談件数		
	R6	評価	評価理由	コーディネーターは計画通りを配置したものの、相談件数が少なかった。
	3件	B		
	R7	今後の課題	ボランティア相談事業の啓発とボランティア活動の周知・啓発を引き続き実施する。	
	8件			

事業No.	220002	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	ボランティア活動に関する情報提供の充実			
事業概要	ボランティア活動に関する情報や相談の場を周知することなどにより、住民に対するボランティア情報の提供を行う。			
R7の取組内容	広報ちょうしにボランティア相談の開催日を掲載（12回）した。また、福祉まつりにおいて参加体験型イベントとして実施し、来場者にボランティア活動の体験、紹介を行った。このほか社福だよりによりボランティア団体の活動内容について掲載（1回）した。			
評価内容	評価指標	広報掲載回数		
	R6	評価	評価理由	市広報に相談日の掲載を行ったほか新たな媒体に掲載ができた。一方、相談における情報提供では十分な情報提供とは言えないが、福祉まつりの実施によりボランティア活動への一定の周知・啓発はできたと考える。
	12回	A		
	R7	今後の課題	相談日の周知だけでなく、各団体の活動をPRできる方策をさらに検討する必要がある。	
	13回			

地域福祉活動計画取組状況確認票（R7：社会福祉協議会）

事業No.	310001	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	心配ごと相談事業			
事業概要	悩みを抱えている人や支援を必要としている人がいつでも相談できるよう、相談事業の情報提供を行う。			
R7の 取組内容	毎月第1、第3金曜日（午前10時から12時）を相談日として、心配ごと相談員を配置した。 ・相談員 4人			
評価内容	評価指標	相談件数		
	R6	評価	評価理由	相談員は計画通り配置したものの、相談件数が少なかった。
	2件	B		
	R7		今後の課題	心配ごと相談の実施について、更なる周知・啓発を行う必要がある。
	3件			

事業No.	320001	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	地域が一体となった福祉活動の推進			
事業概要	住民と行政、また事業者間の交流を深めるため、各団体が実施する事業の共催、後援等を行うことにより、より充実したネットワークの推進に寄与する。			
R7の 取組内容	各団体が中心となって実施する事業等の共催、後援を実施した。 共催・・・1件 後援・・・3件			
評価内容	評価指標	後援等件数		
	R6	評価	評価理由	各団体の事業もコロナ以降再開されているが、令和6年度は節目の事業や非定期的な事業が多かったため、令和7年度は後援等件数が少なくなったが、定期的な事業にはすべて後援等行った。
	8件	A		
	R7		今後の課題	引き続き、各団体の後援等を行っていく。
	4件			

事業No.	(130007) 320002	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	<地域のネットワークづくり> ボランティア連絡協議会の機能強化【重複】			
事業概要	ボランティア連絡協議会の実施する福祉まつりを共催することにより、各団体、事業者間のネットワーク化を図る。			
R7の 取組内容	ボランティア連絡協議会との共催により福祉まつりを実施。ボランティア団体、事業者間の連携を促進した。 ・福祉まつりの共催と助成金による支援（32万円） ・福祉まつり参加団体 36団体／来場者数 500人			
評価内容	評価指標	ボランティア連絡協議会加盟人数		
	R6	評価	評価理由	福祉まつりの参加団体同士や来場者との交流の場となっており、住民や行政、異分野間の事業者のネットワークの推進に寄与していると考え。
	709人	A		
	R7		今後の課題	引き続き福祉まつりの共催を通じ、各分野のネットワーク化を推進する。
	661人			

地域福祉活動計画取組状況確認票（R7：社会福祉協議会）

事業No.	330001	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	福祉テレホンサービス事業			
事業概要	ボランティアが様々な話題をテープに吹き込み、電話を通じて視覚障害者に様々な情報を届けている。また、図書の新刊案内も行っており、希望がある図書はCDに録音し、貸出しを行っている。			
R7の取組内容	福祉テレホンテープ録音 47巻（週1回取替）			
評価内容	評価指標	利用件数		
	R6	評価	評価理由	市内視覚障害者のみならず、市外からの架電もある。利用回数も一定数あり、視覚障害者への情報提供に一定の役割を果たしていると考ええる。
	1,490件	A		
	R7			
1,321件	引き続き内容等を充実しながら実施していく。			

事業No.	330002	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	交通遺児激励見舞金給付事業			
事業概要	交通事故により父母等が死亡した義務教育終了前の児童、生徒等に対し、見舞金（20,000円）を支給する。			
R7の取組内容	対象者がおらず未給付			
評価内容	評価指標	給付件数		
	R6	評価	評価理由	民生委員調査に対する申出制であり、確実な対象者の把握が困難である。
	0件	B		
	R7			
0件	様々な機会をとらえ、事業の周知・啓発が必要と考える。			

事業No.	330003	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	福祉物品の貸付事業			
事業概要	住民福祉の向上を目的に、市民や市内団体等に車いすや高齢者疑似体験セット、かき氷機や大型綿菓子機など銚子市社会福祉協議会所有の用具を貸し出し（無料、原則15日以内）する。			
R7の取組内容	市民や市内団体に、13種、270件の貸出しを行った。			
評価内容	評価指標	貸付件数		
	R6	評価	評価理由	令和7年度も概ね同数の貸付件数であり、一定の効果はあると考える。
	270件	A		
	R7			
270件	今後も利用者の要望等も把握しながら更なる周知に努める。			

地域福祉活動計画取組状況確認票（R7：社会福祉協議会）

事業No.	330004	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	手話講習会の開催			
事業概要	視覚障害者への理解と視覚障害者に対する福祉サービスの充実の一助とするため、市内在住、在勤者を対象に初心者向けの手話講習会を実施する。			
R7の取組内容	開校式、閉校式、実技を合わせ10日間（10回）のコースで実施 ・募集人員 20人、参加申込者 17人、修了者（7回以上） 14人			
評価内容	評価指標	開催回数・受講者数		
	R6	評価	評価理由	前年に比べ申込者数は若干少なくなったが、アンケートによるとほとんどが受講してよかったとの回答であり、障害者理解の促進に寄与していると考える。
	10回・21人	A	今後の課題	引き続き内容等充実しながら実施していく。
	R7			
	10回・17人			

事業No.	330005	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	寝たきり高齢者等への給付事業（在宅援護事業）			
事業概要	在宅援護事業の一環として、在宅の寝たきり高齢者及び寝たきり身体障害者並びに重度知的障害者に対し、見舞金（5,000円）を支給する。			
R7の取組内容	民生委員調査により把握した対象者に対し、見舞金を支給した。 ・寝たきり高齢者 21人、寝たきり身体障害者 7人、重度知的障害者 13人			
評価内容	評価指標	給付件数		
	R6	評価	評価理由	民生委員調査に対する申出制であり、確実な対象者の把握が困難である。
	53件	B	今後の課題	様々な機会をとらえ、事業の周知・啓発が必要と考える。
	R7			
	41件			

事業No.	330006	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	在宅障害者交流事業（イベント、バスハイク）			
事業概要	市内在住の障害者と地域住民、ボランティアとの交流の場として、バスハイクを実施する。			
R7の取組内容	バスハイク事業 ・実施日 令和7年10月11日（土） ・行先 アクアワールド茨城県大洗水族館（茨城県） ・募集人員 30人 参加者数 28人			
評価内容	評価指標	参加率（参加者数／募集人員）		
	R6	評価	評価理由	キャンセル待ち制度を採り入れ、出来るだけ定員での参加を目指した。（令和7年度は2名の直前のキャンセルがあった。）
	83.3%	A	今後の課題	引き続き、参加しやすい目的地を検討するほか、キャンセル待ち制度を継続していく。
	R7			
	93.3%			

地域福祉活動計画取組状況確認票（R7：社会福祉協議会）

事業No.	410001	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	各種福祉団体への助成			
事業概要	地区社会福祉協議会など福祉活動を行う団体へ助成を行う。			
R7の 取組内容	助成団体	地区社会福祉協議会	13団体	(2, 233, 433円)
		その他福祉活動団体	28団体	(1, 338, 850円)
評価内容	評価指標	助成団体数		
	R6	評価	評価理由	概ね申請通り助成しているが、助成団体が固定化しつつある。
	43団体	B		
	R7		今後の課題	助成金の原資となる共同募金が減少している中で、財源の確保が課題である。
	41団体			

事業No.	410002	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	民生委員・児童委員協議会事務局の円滑な運営			
事業概要	民生委員・児童委員協議会の事務局事務を行うことにより、協議会の円滑な運営に寄与する。			
R7の 取組内容	協議会の会議の準備、当日の進行のほか、調査報告のとりまとめなど、協議会事務全般にわたり運営を支援した。 総会・理事会・監査　9回／地区会長会議　7回／部会会議　3回／その他　17回／臨時総会　1回			
評価内容	評価指標	協議会会議等開催回数		
	R6	評価	評価理由	協議会活動全般にわたり、運営に携わっており、事務局としての役割を担っている。
	34回	A		
	R7		今後の課題	引き続き事務局事務を担っていく。
	37回			

事業No.	410003	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	保護司会事務局の円滑な運営			
事業概要	保護司会の事務局事務を行うことにより、保護司会の円滑な運営に寄与する。			
R7の取組内容	保護司会の会議の準備、当日の進行のほか、経理、報告書のとりまとめなど、保護司会事務全般にわたり運営を支援した。 総会・理事会・監査 3回／役員会 10回／社明活動 7回／部会会議 8回／その他 4回			
評価内容	評価指標	保護司会会議等開催回数		
	R6	評価	評価理由	保護司会活動全般にわたり、運営に携わっており、事務局としての役割を担っている。
	33回	A		
	R7		今後の課題	引き続き事務局事務を担っていく。
	32回			

地域福祉活動計画取組状況確認票（R7：社会福祉協議会）

事業No.	420001	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	災害ボランティアセンター運営体制の構築			
事業概要	災害ボランティアセンター（以下「災害VC」という。）の円滑な運営のため、連絡調整会議を設置するなど、関係団体等との連携強化を図るとともに、災害VCを運営するための訓練や研修会などを実施、参加する。			
R7の取組内容	連絡調整会議の開催や関係団体が実施する研修会等に参加した。特に県内社協共通のシステムの操作訓練や県社協が主催する災害VC専門委員会へ職員を派遣した。 連絡調整会議 1回／kintoneを活用した操作訓練 3回／その他研修会等 6回			
評価内容	評価指標	連絡調整会議等の開催回数		
	R6	評価	評価理由	新たに導入されたシステムの操作訓練を関係団体向けに実施したほか、県社協で実施する災害VCの円滑な運営を調査検討する専門委員会へ派遣、災害VCの運営力向上を図った。
	13回	A		
	R7			
	10回			
今後は災害VC運営システムを活用した具体的な設置訓練を行う必要があるが、その運営方法をシステムのみで行うかこれまでの紙ベースも併用するか、分かりやすく効果的な運営方法について検討する必要がある。				

事業No.	420002	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	善意銀行の円滑な運営			
事業概要	労力、技術、金銭、物品について、市民からの善意の提供を受け、生活に困窮し善意を必要とする者にあつせんする。 近年は、金銭のみ（概ね10,000円）の貸付となっている。			
R7の取組内容	貸付件数 5件（47,000円）			
評価内容	評価指標	貸付件数		
	R6	評価	評価理由	件数は少ないながらも、実施しているが、金銭のみの申請となっている。
	1件	B		
	R7			
	5件			
現在は善意の提供がなく、これまでの積立で対応している。また、金銭以外の相談がなく、今後の在り方について検討する必要がある。				

事業No.	420003	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	法外教育援護事業			
事業概要	生活に困窮する準要保護世帯の小中学校の児童・生徒に対し、学校用品購入費として4,000円／人を給付する。			
R7の取組内容	給付時期 年末 給付対象者 小学生 97人（388,000円）／中学生 92人（368,000円）			
評価内容	評価指標	給付件数		
	R6	評価	評価理由	対象者への情報提供も行っており、生活支援の一助となっていると考える。
	185件	A		
	R7			
	189件			
引き続き事業を実施していく。				

地域福祉活動計画取組状況確認票（R7：社会福祉協議会）

事業No.	420004	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	生活資金等貸付事業（市からの委託事業）			
事業概要	低所得世帯の生活支援のため、高額療養費、出産育児費、生活資金を貸し付ける。			
R7の取組内容	高額療養費 〇件／出産育児費 〇件／生活資金 〇件			
評価内容	評価指標	貸付件数		
	R6	評価	評価理由	制度自体はあるものの、貸付実績がなく、低所得者の生活支援につながっているかどうか、不明。
	3件	C		
	R7			
	〇件		今後の課題	貸付件数が少ない中で、事業の継続性について、市と協議する必要がある。

事業No.	420005	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	生活福祉資金等の貸付事業（県社会福祉協議会からの委託事業）			
事業概要	低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯に対して、自立と生活の安定を進めるため、資金の貸付や民生委員をはじめとする関係機関との調整、相談などの支援を行うとともに、貸し付けた資金の債権管理を行う。			
R7の取組内容	相談件数 129件／貸付件数 2件（教育支援資金 1件／福祉資金 1件） 令和8年3月末現在 管理債権数 615件			
評価内容	評価指標	貸付件数		
	R6	評価	評価理由	貸付は生活再建の一助になっているが、相談件数に対して対象外である場合が多いことから貸付件数が少なく、関係機関へつなぐケースが多い。 滞納者への訪問・相談により、返済再開や償還免除、他制度へつながったケースもある。
	3件	B		
	R7			
	2件		今後の課題	低所得世帯等への貸付であることから、返済が滞ることが多く、貸付後も関係機関と協力しながら償還指導を行っていく必要がある。

事業No.	430001	担当課室	社会福祉協議会	
事業名	日常生活自立支援事業			
事業概要	高齢者や障がい者などで支援員等の定期的な訪問により、福祉サービスの利用支援（福祉サービス利用援助）や、生活費・医療費・税金・公共料金の支払いなど日常的な金銭管理（財産管理サービス）、通帳や権利証など重要な書類等の預り（財産保全サービス）を行う。			
R7の取組内容	前年度末利用者数 28人、解約者数 6人、新規契約者数（移管含む）7人、当該年度末利用者数 33人			
評価内容	評価指標	利用者数		
	R6	評価	評価理由	定期的な訪問により、金銭管理のみならず、健康状態や生活状態も確認しており、場合によっては必要な機関との連携など、利用者の生活支援に大きく寄与している。
	28人	A		
	R7			
	33人		今後の課題	引き続き、周知・啓発を行っていく。